

常任委員会報告

各常任委員会では、政策課題について調査をしています。その一部を報告します。

3つの常任委員会についてご紹介します。



産業建設 常任委員会

農商工業、道路や河川、下水道などについて審査しています。



総務 常任委員会

町の財政や税金、公民連携、空き家などについて審査しています。



福祉文教 常任委員会

福祉や環境、教育全般などについて審査しています。

福祉文教常任委員会

政策課題

- 学校教育及び子育て支援について
- 介護のあり方について
- 鳥獣被害対策について

調査事項

- 【平成28年学校経営等全般について】
 - ・町内小中学校（4校）
- 【「日本一の子育て構想」における子育て支援について】
 - ・島根県^{おおなん}南町

日本一の子育て村を
目指し、「地域で子育て
て 未来を創る みんな
が笑顔で暮らせるま
ち」の理念のもとに、
過疎対策事業債を活用



し、第2子以降保育料の完全無料、保育所完全無料給食など様々な経済支援策や地域住民による移住者を受け入れる心の寛大さにより出生率、出生数の増加などの成果をあげている。子どもを地域で育てていくという今後の課題を再確認出来た。

【鳥獣被害対策への取り組みについて】

- ・島根県^{みさと}美郷町

美郷町は鳥獣被害対策をきっかけとして捕獲されたイノシシの肉・缶詰・皮製品などを6次産業化のツールの一つとして捉え、町全体の地域活性化へと発展させている。人材にせよ、知恵にせよ、地域にあるものを生かし、補助事業に頼らずに被害者である農家自ら狩猟免許を取り、行政と町民が一体となって取り組んでいる姿勢には学ぶべきことが多くあった。



総務常任委員会

・北上市

- 空き家対策について
- 町税等の収納対策について
- 定住促進対策について

政策課題

空き家倒壊などの苦情が寄せられていた。条例は、倒壊などの事故、犯罪、火災などを防止し市民の安全で安心な暮らしの実現を目的としている。解体は行政代執行、補助金制度(条件付)がある。解体の具体例が参考になった。

北上市空家等対策計画の基本方針は、空き家の発生予防、利活用、空き家等への措置の3つである。相談サポーター、相談窓口を設け、発生予防に力を入れていくなど参考となった。

今後も調査は継続し、政策提言に向けて検討を進めていきたい。

調査事項

- ・市内の主な空き家と空き家活用などの現地を都市計画課と視察した。
- ・行政区長の聞き取り調査による「空家候補」の報告では、平成26年は町内合計が407戸、27年度は440戸に増加している。

【先進地視察研修】

- ・秋田県大仙市
- ・豪雪地帯であり、空



産業建設常任委員会

政策課題

- 農業と観光・歴史文化の一体的な展開による地域振興について

調査事項

【観光戦略について】

・島根県隠岐の島町

隠岐4町村による隠岐観光協会を中心とし、姉妹都市・ふるさと会・大学と連携した誘客活動、隠岐ユネスコ世界ジオパークの自然環境や、隠岐の牛突きなどの伝統文化を活用した振興事業、航空路線の維持・拡大に取り組み、近年交流人口が増加傾向にある。当町に比べ多額の予算規模であり、雇用対策にも大きく寄与している。

【U・Iターンにかかわる産業の創出について】

・島根県海士町

産業振興のキーワードを「海・潮風・塩」の三本柱に、地域資源を有効活用した産業振興策を進めた結果、この10年でU・Iターンの雇用は204人、Iターンの定住は356世帯・521人へのぼり、島興しの原動力となっている。

また、高校と連携した公立塾や独創性あるカリキュラムなど、全国から生徒が集まる魅力的な高校作りを推進し、平成28年度は島外から定員の4割余りが入学した。今後は教育のブランド化を図り、人が循環する「島づくりに」を目指している。課題も未来も国に先取り、日本の新しい道を最先端で切り拓いていく挑戦に終わりはないという姿勢に学ぶべきものがある。